



伝統を継承し、誇りをもって 未来へひらく学校

幸手市立上高野小学校

本校は、明治6年に開校し、今年度で147年目を迎えました。「思いやりのある子」「よく考える子」「元気な子」を学校教育目標として掲げ、家庭・地域との連携を深めながら、日々教育活動に取り組んでいます。

コロナ禍の現在ですが、これを「新たな価値を創造するチャンス」と捉え、さまざまな教育活動に取り組んでいます。

10月8日・9日には、感染症対策を万全に行い修学旅行を実施しました。福島県会津方面に赴き、グループごとの体験学習をしたり、震災についての講話を聞いたりして、学びを深めました。10月31日には音楽会を実施し、低・中・高学年と時間を分け、互いの学級の音の響きを感じ取っていました。



残念ながら公開は、6年生保護者に対する鼓笛演奏のみでしたが、今後、ネット配信で各学級の演奏の様子を保護者の皆様に見て頂く予定です。

また、令和2年度から、幸手市教育委員会ならびに幸手市教育研究会より「学力向上に関する研究」の委嘱を3年間受け、研修を深めていきます。

これまで積み上げてきたものを継承し、心と体を一体として捉えた指導法の工夫改善を図るとともに、めざす児童像を具現化し、一人ひとりが「自信と誇り」をもてるよう、研究に励んで参ります。



郷土資料館「藁で作るお正月飾り」

12月13日(日)、藁細工職人の坂斉武男さんを講師に迎え、もの作り体験「藁で作るお正月飾り」が行われました。

坂斉さんの藁を編んでいく見事な手さばきを、参加したみなさんは手を止め、食い入るように見つめます。

参加者は「昨年から楽しみにしていたので、今年も参加できてよかったです。上手に仕上げられたので、良いお正月を迎えられそうです!」と話してくれました。



左から
木村市長
熊坂学長代行

日本保健医療大学と包括的連携協定の締結

12月4日(金)幸手市役所にて、幸手市と日本保健医療大学間で包括的連携協定を締結しました。

包括的連携により、福祉・医療・保健に関することとはもとより、地域振興や情報発信などさまざまな分野での連携を図り、協働によるまちづくりを進めてまいります。

待ちに待った!

社会科見学! (権現堂川小学校)

11月18日(水)権現堂川小学校5年生児童が、社会科見学として日本トランスシティ株式会社(神扇)を訪れ、靴の物流を見学しました。

幸手営業所の谷口所長から、会社の概要などの少し難しい話を分かりやすく解説され、その後2班に分かれ見学が始まりました。

※日本トランスシティ株式会社は総合物流企業で、さまざまな商品を取扱う中、今回は靴の物流を見学。



ソーター・省力化機器見学 (ソーター: 商品を配送先別に分ける自動仕分け機器)

ソーターに乗った商品がつぎからつぎへと流れてきて、そこに新たなラインから商品が合流しますが、商品が当たりそうで当たらない様子を、児童たちは不思議そうに見ていました。

また、商品に値札を貼る作業は機械が自動で行いますが、ここで問題です! 「値札を貼る時、電気と〇〇を使いますが、何を使っているのでしょうか?」

※答えはこのページのどこかにあります。



コロナ禍でなかなかできなかった社会科見学ですが、児童らは待ちに待っていたようで、積極的に質問をしながら一生懸命に学習メモも取っていました。



ピッキング作業体験(商品をとること)

13桁の商品コードが書かれたお題から下4桁を確認し、商品棚から商品を取ってきます。

少しドキドキしながらも答え合わせ…、全員正解でした!



谷口所長のお話し

今回、フル稼働後初めての社会科見学の受け入れになりますが、企業理念に「地域とともに生き、広く社会の発展に貢献する」という言葉がありますので、前向きな姿勢でインターンシップや家族を呼ぶなどして、地域や家族の理解に対し貢献していきたいと考えています。

物流はきついというイメージがありましたが、今はシステム化・省力化が進んできていますので、きれいな環境で働いているところを、社会科見学も含めてぜひ見てもらいたいですね。

若草俳句会

「秋晴・猫じゃらし」

秋晴や

洗濯物の行儀良き

中田志づ・幸手市権現堂

退院の

深き一礼秋うらら

中山雅友・幸手市東

秋晴や

二人で食す稲荷寿司

中緒知和子・幸手市香日向

秋晴れに

浮足立つや服選び

田口もと子・幸手市中

胸の風

留まりしらぬ猫じゃらし

高橋照子・幸手市中野

たわいなき

日々の幸せゑのこ草

田村千秋・さいたま市南区

わが肩と

太さ比べや猫じゃらし

鈴木佐一・久喜市栗橋東

燎原短歌会

歳晩の

大楠の影長くひき

過ぎゆきしこと

なべてつつまる

古賀富美江・中三

炎鵬は跳んで潜って

大兵を

牛若丸のごとく

翻弄す

小沢六子・中二

一切の汚れ拭いて

裾野ひく

新春の富士

心澄みゆく

澤田俊子・緑台一

身辺整理と

思えど捨て得ぬ布類の

リメイクするも

押し入れを占む

中村孝子・南三

わかさぎを釣りて

きらきらひかるさま

行幸湖めぐる

冬のにぎわい

野口と志子・東五

